

1 ねらい

- 教職員一人一人が教育公務員としての使命と責任についての自覚を促進するとともに、府中中学校の組織全体で倫理観と規範意識の向上を図る。
- 「トップダウン型研修」と「ボトムアップ型研修」を併用することで、コンプライアンスについて自分事として考えるとともに、「自分たち事」として捉え、職員の協働意識を高める。

【よりよい職場環境づくりのために】 ☆エモーションナルコンプライアンスへの転向

◆不祥事を絶対に起こさない (プラスの感情により、正しいことをしようという自律的なマインドを引き出す)

自分以外の教職員が起こした事件や不祥事に対し、「自分には関係ない」「自分は起こさないから大丈夫」「一部の人が起こしたものだから自分には研修の必要がない」と、他人事として考えてはならない。突然降りかかることも、法制が変わって枠組みから逸脱することもある。常に自分事として考え、最新の情報の上に細心の注意を払って職務にあたる。

仕事上の信頼関係を、職場でのよりよい人間関係の構築に繋げ、お互いに不祥事が起きないように声を掛けあう風通しの良い同僚性の高い職場にする。

R7重点テーマ 個人・組織で取り組むコンプライアンス～自分事として考え、個人・集団での行動へ～

◇教職員全体に求められること

- ・日常の業務における組織対応
- ・生徒への指導は複数で
- ・「報告・連絡・相談・確認」の徹底
- ・学年、教科、校務分掌を越えた協力体制の整備
- ・鮮度が高く、綿密な情報共有

2 推進委員 5名 (教頭及び各学年職員1名)

3 主な活動内容

- 学校コンプライアンス推進のための研修の企画・運営
- 定期的な委員会の開催と情報交換
 - ・毎月の校内研修等でミニ研修を実施する
 - ・参加型、ワークショップ型の研修とする

4 年間活動計画

月	推 進 委 員 会	校 内 研 修	
		担当	研 修 内 容
4	委員会開催計画 年間校内研修計画の周知	校長	・教育公務員としての自覚について ・新採教諭、講師（任期付・非常勤を含む）へのコンプライアンス研修
		教頭	・服務規律、勤務時間の適正管理、保護者対応 ・飲酒運転の根絶について ・若手対象事例研修

5	情報交換 研修内容・資料の確認	校長 教頭	・コンプライアンスに関する面談（教員評価）
		教頭	・サービスの基本原則、懲戒処分について
6	情報交換 研修内容・資料の確認	3年	・教職員の交通事故の未然防止について
7	情報交換 研修内容・資料の確認	校長	・講師（任期付・非常勤を含む）へのコンプライアンス研修
		教務	・評価テストにおける不正防止及びテスト問題流出防止
		2年 教頭	・個人情報の管理と漏洩防止 ・学校徴収金の取り扱いについて ・夏季休業中のサービスについて
8	情報交換 研修内容・資料の確認	1年	・ハラスメントの未然防止について
		教頭	・業務の効率化について
9	情報交換 研修内容・資料の確認	4年	・体罰、不適切な指導の根絶について （望ましい部活動の在り方）
10	情報交換 研修内容・資料の確認	校長	・講師（任期付・非常勤を含む）へのコンプライアンス研修
		3年	・紛失、盗難の未然防止について
		教頭	・メンタルヘルスの保持増進
		校長 教頭	・コンプライアンスに関する面談（教員評価）
11	情報交換 研修内容・資料の確認	2年	・公金の取り扱いについて
12	情報交換 研修内容・資料の確認	教頭	・冬季休業中のサービスについて
		1年	・セクシャルハラスメントについて
1	情報交換 研修内容・資料の確認	校長	・講師（任期付・非常勤を含む）へのコンプライアンス研修
		4年	・パワーハラスメントについて
2	情報交換 研修内容・資料の確認	校長 教頭	・コンプライアンスに関する面談（教員評価）
		2年	・わいせつ行為の根絶について
3	情報交換 本年度の反省 次年度の活動計画立案	教頭	・年度末年度始めのサービスについて
		1年	・著作権、肖像権、知的財産権について

〈参考資料の例〉

- ・「信頼される学校であるために」茨城県教育委員会 平成28年3月
- ・「コンプライアンスだより」茨城県教育庁学校教育部
- ・One IBARAKI
- ・新聞等の事例、過去のコンプライアンス事例等
- ・自分の考えや体験談、学校現場で起こりうるヒヤリ・ハットの事例
- ・各種書籍